

現在の日本を取り巻く社会情勢の変化は目まぐるしく、大規模な天災や長引く不況、近隣諸国との関係悪化によって将来に対して誰もが不安を感じています。その不安を払拭する為にも、将来を担う宝である子ども達を健やかに育む事は、学校や親だけでは無く地域の大人に課せられた使命であると言えます。ところが実態として養育を放棄する親が少なからず存在し、親の責任感や親子間と地域間での交流が希薄となった結果、青少年犯罪の凶悪化に歯止めが掛からず、いじめ等の痛ましい事件が連日発生しています。この事象は子ども達だけの問題では無く、利己的な価値観が育まれ易い社会全体が抱えている問題であり、私達が幼少より培ってきた「相手を思いやる気持ち」をしっかりと次代に伝え、進むべき方向性を堂々と示す事が出来れば必ずや改善出来ます。

公益社団法人である乙訓青年会議所は設立当初より先輩諸兄が諸問題に対し勇猛果敢に活動して来られ、地域の大人や子どもに対して真摯に向き合い、堂々と進むべき方向性を示して来られました。そうして築き上げられた地域の負託と信頼を引き継ぎ発展させていく為にも、理念と想いを継承する現役メンバーの日々の活動が重要です。子ども達の規範となるべく意識して行動する事で、私達自身も地域に貢献出来る人材へと磨き上げられるのではないのでしょうか。

本年度、青少年育成委員会では乙訓の宝である子ども達の愛郷心を育みながら健やかに成長して頂くように各委員会と協力して乙訓文化少年団を運営し、その中で親と子が協力する事の大切さを体感出来る社会道徳研修事業を開催致します。7月オープン例会では地域の大人が自信と責任感を持って子ども達に進むべき道を示せるように、社会道徳について真摯に学ぶ機会を創出致します。ケイジャーズカップでは実行委員会と連携して競技の魅力が伝わる大会運営を行いません。第10回の節目を迎える乙訓ふるさとふれあい駅伝では大会委員会と連携して、愛郷心を育みながら地域の交流が実感出来る事業となるよう協働します。私達が掲げる理念を実現する為には多くの実行力が必要であり、共に活動してくれる同志を増やす必要があります。その為にも会員拡大委員会と連携して会員拡大活動を積極的に行ない、まちづくり委員会に協力してより多くの市民の郷土愛を高め、明るい豊かな乙訓の実現を目指します。そしてビジョン会議と連携して乙訓青年会議所の軌跡を検証し、将来への指針を策定して参ります。

最後に青少年育成委員会メンバーは子ども達と積極的に交流を図り、自信と責任感を持って「相手を思いやる気持ち」に代表される社会道徳を地域の大人や子どもにお伝え致します。そして笑顔が咲き誇れる乙訓を目指してまずは私自身、そして委員会メンバーがどんなときでも明るく前向きに活動し、各事業を楽しみながらも熱意を持って真剣に取り組む姿を見せる事で、乙訓全体が一枚岩となるよう邁進して参ります。